

狩野川放水路完成60周年シンポジウム

～節目のいま考える「つなぐ」ことの大切さ～

狩野川放水路完成から60年の節目を迎えた今、治水事業のあり方や狩野川放水路の今後について改めて考え直すとともに、流域の子供たちへの記憶の伝承と、流域住民の防災意識向上を図るため、シンポジウムを開催した。

【開催概要】

日時: 令和7年8月23日(土) 10:00～15:30 (第一部10:00～12:00、第二部13:30～15:30)

会場: 伊豆の国市アクシスカつらぎ大ホール

主催: 「狩野川台風の記憶をつなぐ会」 参加者数: 約700人

プログラム: 【第1部】小学生による防災取り組み発表、防災教育OB・OGインタビュー、パネルディスカッション

【第2部】狩野川放水路紹介ビデオ上映、狩野川の治水事業の取り組み、ロゴマーク表彰

【マスコミ取材】 テレビ 2社(静岡放送、静岡第一テレビ) / 新聞 2社(静岡新聞、伊豆日日新聞)

主催挨拶・来賓祝辞



主催挨拶 菊地伊豆市長



開催挨拶 森本局長



来賓挨拶 細野衆議院議員



来賓挨拶 西園衆議院議員



来賓挨拶 牧野参議院議員



来賓挨拶 若林参議院議員



来賓挨拶 塚本静岡県副知事



来賓挨拶 杉山県議会議員



来賓挨拶 中田県議会副議長



開催状況

小学生による防災の取り組み発表

防災・河川環境教育をに取り組んだ狩野川流域の3つの小学校の児童が取り組み内容を発表。



児童による発表

- 伊豆市立熊坂小学校
「熊坂小学校の私たちにできること」
- 伊豆の国市立長岡南小学校
「狩野川博士になろう
～狩野川と共に生きる～」
- 沼津市立大平小学校
「水害から私たちの暮らしを
守るために」

防災教育OB・OGインタビュー

熊坂小学校卒業生で現在高校2年生の10名に対し、当時の先生が、防災・河川環境教育での学びや思い出についてインタビュー。

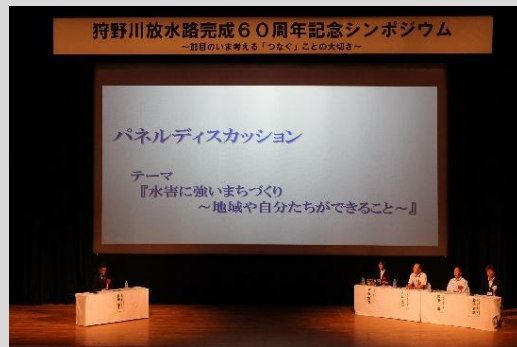


杉山先生

パネルディスカッション

「水害に強いまちづくり ～地域や自分たちができること～」

狩野川流域における水害リスクを踏まえ、地域や自分たちが行っていることを“継続”して実施すること、“流域治水”の考えに基づく“連携”や“治水対策”等の重要性について議論。



- ◆コーディネーター
静岡新聞社
東部総局編集部長兼論説委員
松岡雷太
- ◆パネリスト
・名城大学 教授 柄谷友香
・熱海市立多賀小学校 校長 杉山宏次
・伊豆の国市消防団 団長 荻野一義
・沼津河川国道事務所 所長 藤浪武志

ロゴマーク表彰

◆採用作品作者：山下明香理さん(現在高校生)

約230作品の中から決定した「狩野川放水路完成60周年記念ロゴマーク」の採用作品の作者に表彰。



ロゴマーク